

第2章

RX-78にアタックする

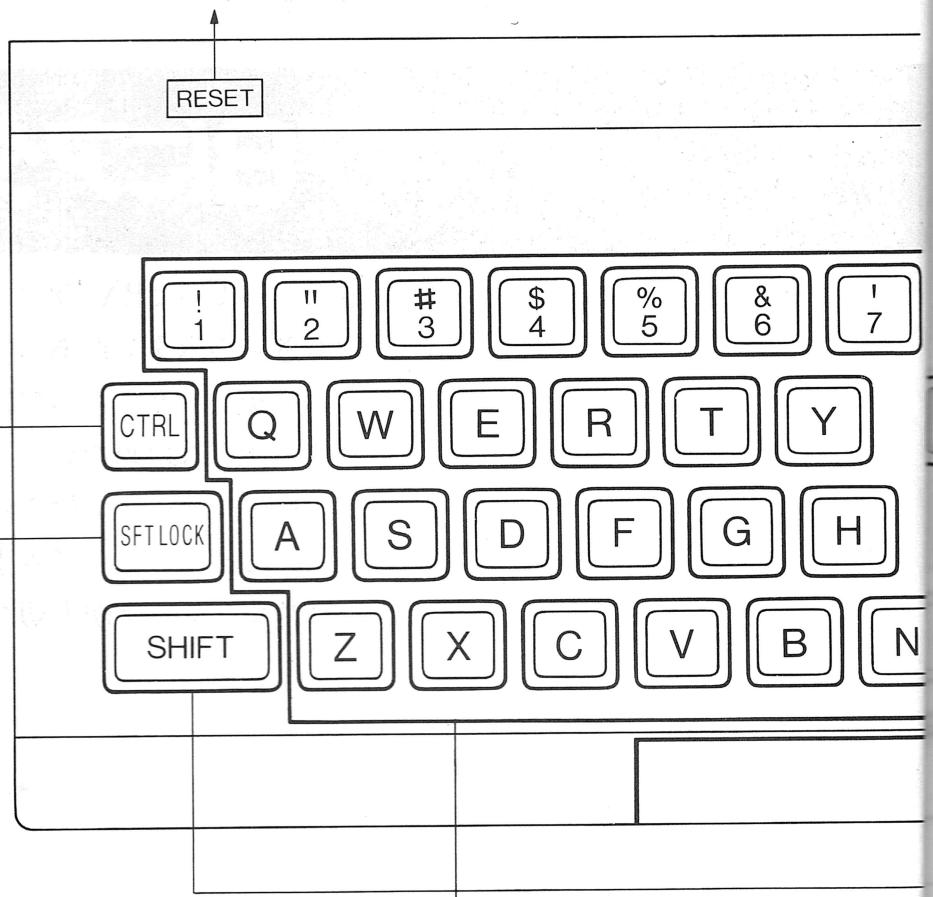
さて、いよいよRX-78にアタックしよう。RX-78にはたくさんボタンがあって、なんだかとても複雑そうだ。しかし、そう言ってばかりではいつまでたってもプログラムは組めない。

ちょっとやそっとではこわれたりしないから、安心して、どんどんいじってみよう。何事もわかり合うまでにはキンシップが大切だ。

キーボードの機能—1

リセットスイッチ

スイッチを入れた直後の状態にもどす。
※これを押すと、RX-78に入っているプログラムが
すべて消えるので注意!!



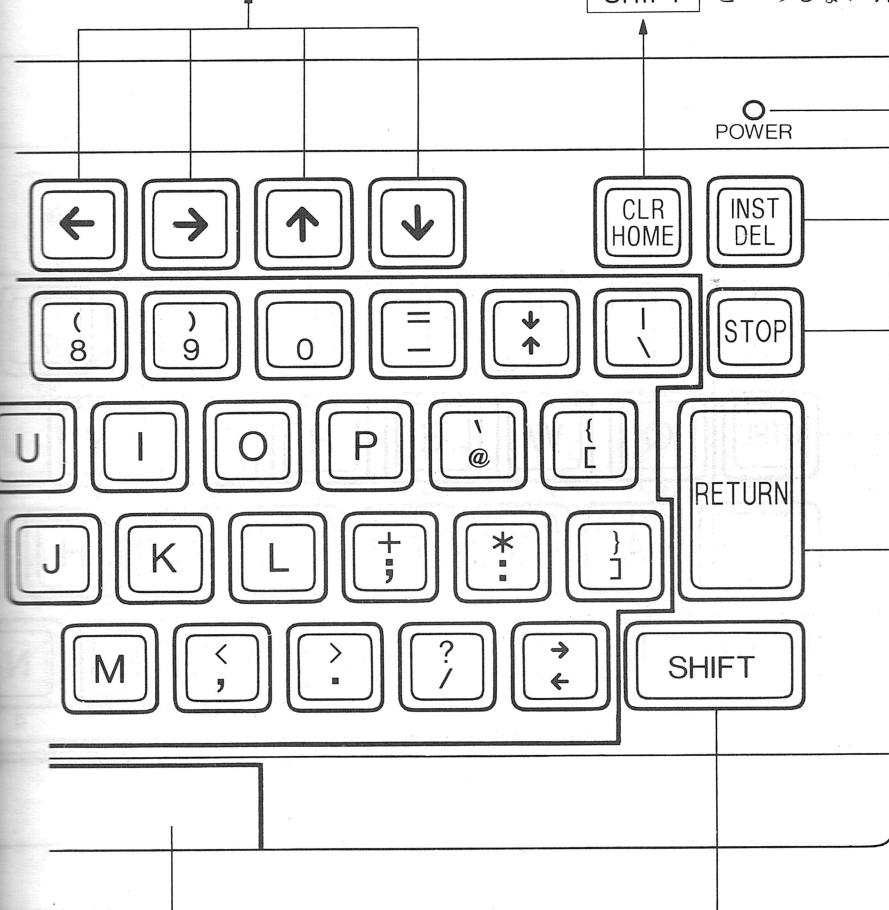
数字、英文字、英小文字、カタカナ、記号を画面にた

ホーム, クリアーキー

カーソルを画面の左上すみに移す。

SHIFT

といっしょに押すと画面の内容も消える。



カーソルを矢印の方向に動かす。

→電源ON/OFF確認ランプ

インサート, デリートキー

カーソルの左の文字を消す。

SHIFT

といっしょに押すとカーソルの場所に文字や記号などを追加できる。

ストップキー

プログラムの実行を途中で止める。

リターンキー

命令文を入力する。

スペースキー

空白をだす。

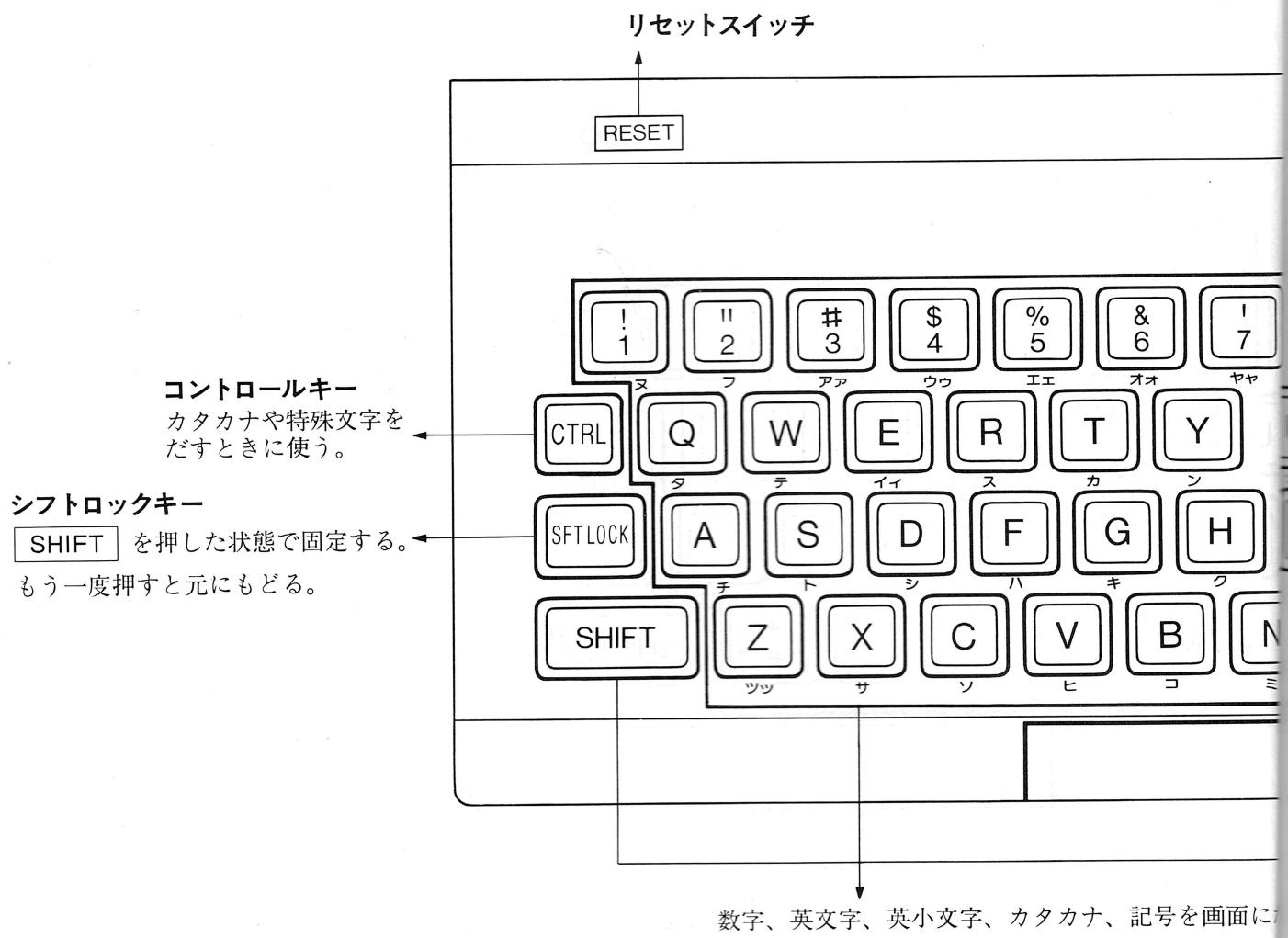
シフトキー

英小文字、キーの上半分に書いてある記号をだす時に使う。
左右どちらを使っててもよい。

キーボードの機能 2

オーバーレイをのせた場合

カタカナをだす時はオーバーレイをキーボードにのせると便利です。



カーソルを矢印の方向に動かす。

ホームクリアーキー

POWER

▶電源ON/OFF確認ランプ

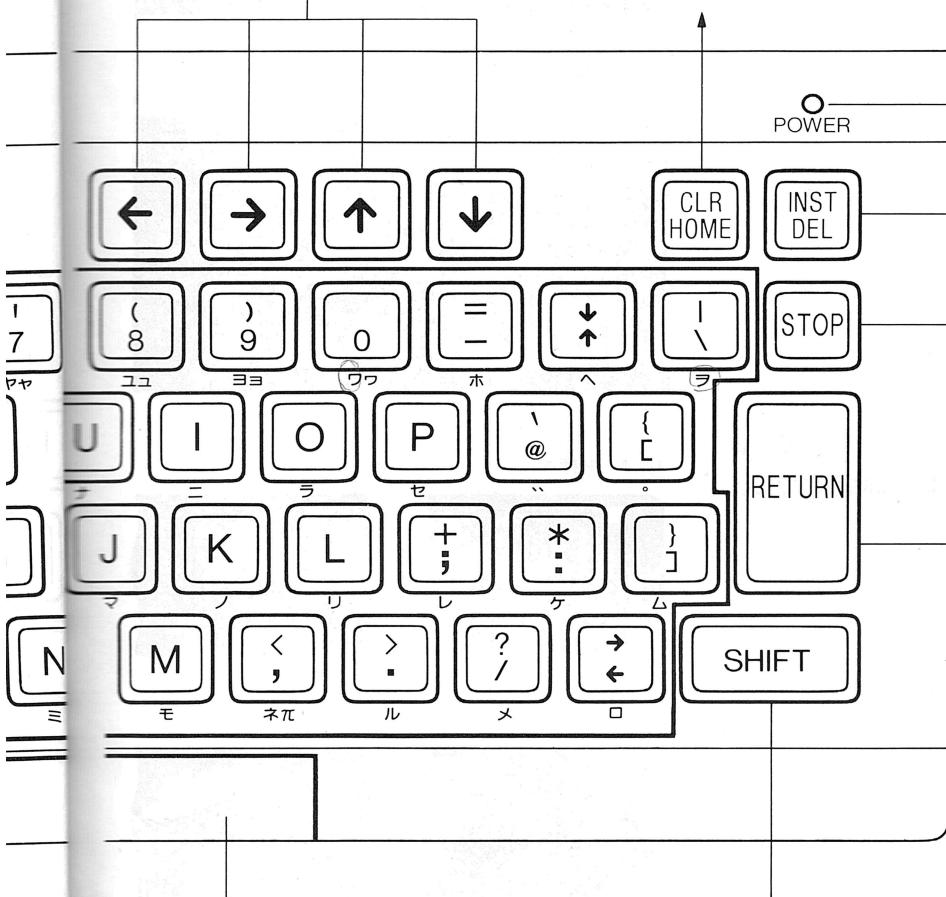
▶インサート、デリートキー

▶ストップキー

▶リターンキー

面に
スペースキー

シフトキー



キーボードからRX-78に話しかける

キーボードは二十面相

キーボードにあるいろいろなキー（ボタン）を押すことによって、君はRX-78に話しかけることができる。同じキーでも、そのキーだけを押したり、**SHIFT**キーや**CTRL**キーなどといっしょに押すことによって、いろいろな文字や記号を画面にだすことができる。つまりキーボードは二十面相なのである。

カーソルとは

RX-78の画面を見ると、四角くて、チカチカ点滅しているものがある。これをカーソルと呼ぶ。（写真①）

文字や記号のキーだけを押すと

さっそく画面に文字をだしてみよう。キーボードを見ると、0～9までの数字、A～Zまでのアルファベット、+や?などの記号を書いたキーがある。これらのキーを押すとつぎのように画面にでる。

●文字がひとつしか書いていないキー

→キーに書いてある文字である。

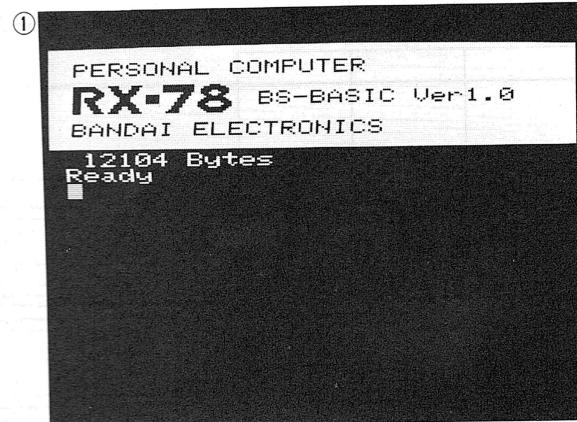
●文字がふたつ書いてあるキー

→キーの下半分に書いてある文字である。

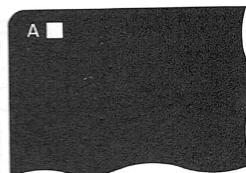
キーを押すと、カーソルがあったところに文字がでて、カーソルが1つずつ移動していく。画面の右はしまできたら、カーソルはつぎの行の左はしにくるようになっている。

キーを押し続けると

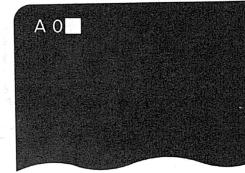
Aを押すと画面にAとなるが、このキーを押しっぱなしにしておくと、Aという文字が続けてでてくる。他のキーも同じで、同じキーを押し続けると、同じ文字がどんどんでてくる。このことをオートリピートという。



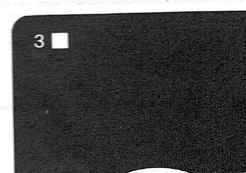
① **A** を押す



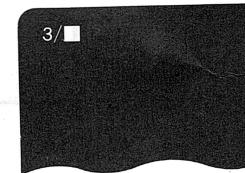
② **0** を押す



① **#** を押す



② **?** を押す



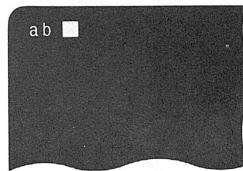
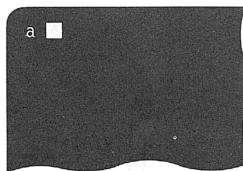
SHIFT キーを押しながら文字や記号のキーを押すと

SHIFT キーを押しながら文字や記号のキーを押すとつぎのように画面にでる。

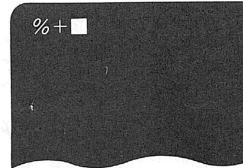
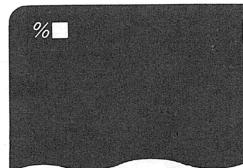
●アルファベットキー

→アルファベットの小文字ができる。

- ① **SHIFT** を押しながら **A** を押す
- ② **SHIFT** を押しながら **B** を押す



- ① **SHIFT** を押しながら **%** を押す
- ② **SHIFT** を押しながら **+** を押す



●文字がふたつ書いてあるキー

→キーの上半分に書いてある文字ができる。

② **SHIFT** キーと文字、記号キーは同時に押されてなければなりません。
ただし、押す順番は **SHIFT** キーの方が先です。

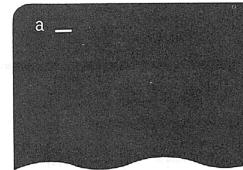
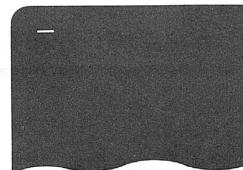
SFTLOCK で **SHIFT** を固定

英小文字を続けて使う時など、**SHIFT** を押しっぱなしにしているのではめんどうだし、能率も悪い。そんな時は **SFTLOCK**。

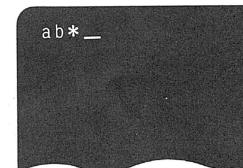
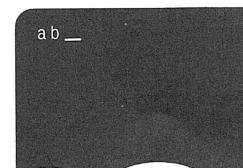
SFTLOCK を押すということは、**SHIFT** を押し続けているのと同じことなのである。この時、カーソルが、_の形になっていることに注意しよう。

この状態から元にもどるには、もう一度 **SFTLOCK** を押す。

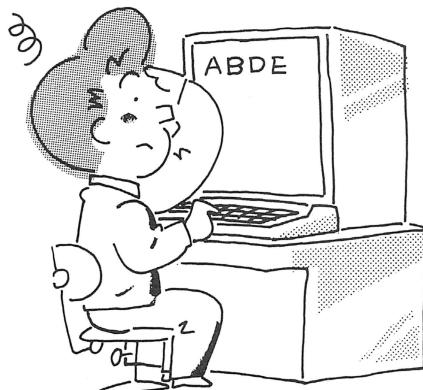
- ① **SFTLOCK** を押す。カーソルが_と変わる。
- ② **A** を押す。



- ③ **B** を押す。
- ④ ***** を押す

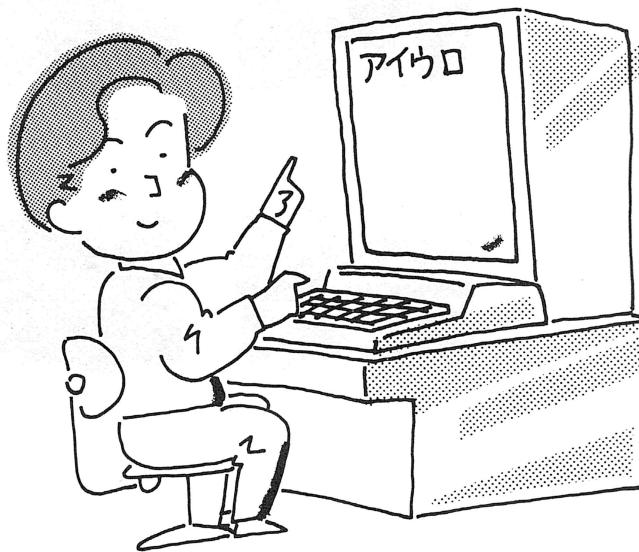


⑤この状態から元にもどるには、もう一度 **SFTLOCK** を押してください。

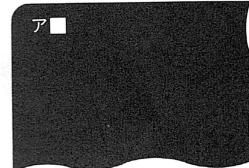


CTRL キーを押しながら文字や記号のキーを押すと

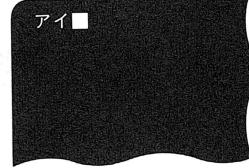
CTRL キーの使い方は **SHIFT** キーにそっくりだ。**CTRL** キーを押しながら文字や記号のキーを押すと、カタカナがでてくる。



① **CTRL** を押しながら **#3** を押す



② **CTRL** を押しながら **E** を押す

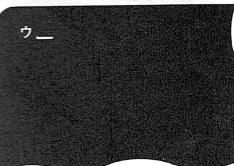


SFTLOCK 状態で、**CTRL** キーを押しながら文字や記号のキーを押すと

SFTLOCK キーを押し、カーソルが _ になっている状態で、**CTRL** キーを押しながら文字や記号のキーを押すと、カタカナの小文字がでてくる。

① **SFTLOCK** を押し、カーソルを ■ から _ にする。

② **CTRL** を押しながら **\$4** を押す ③ **CTRL** を押しながら **%5** を押す



カーソルをコントロール

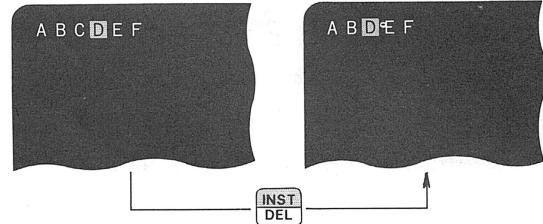
文字や記号をいれる方法はわかつてくれたと思う。今度はカーソルを動かす（コントロールする）いろいろなキーの説明をしよう。

[INST DEL] キーで文字を消したり加えたり

文字や記号を入れる時、よく入れまちがいがおこる。いったん画面に入れた文字や記号を消したり、入れ忘れた文字や記号を追加するにはどうしたらよいのだろう。そのために使うキーが**[INST DEL]**キーだ。

- **[INST DEL]** キーだけを押すと

→カーソルのすぐ左の文字が消え、右側に続く文字を1文字分左側に移す。→デリート機能

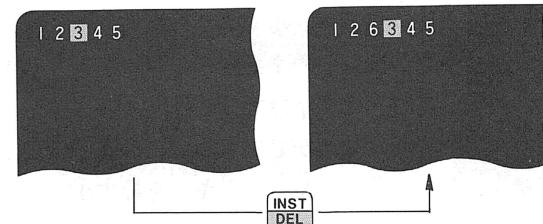


[INST DEL]キーを押す。カーソルのすぐ左の文字Cが消え、右側の文字DEFが1文字分左に移る。

- **[SHIFT]** キーを押しながら **[INST DEL]** キーを押すと

→カーソルの点滅が速くなり、この状態で、文字や記号のキーを押すと、カーソルの左側に入り、右側に続く文字が1文字分右側に移る。→インサート機能

② **[INST DEL]** の状態から元にもどるには、**[↑]** **[↓]** **[←]** **[→]** **[STOP]** **[CLP HOME]** **[RETURN]** のどれかを押す。



[SHIFT] キーを押しながら **[INST DEL]** キーを押す。カーソルの点滅が速くなる。この状態で **[6]** キーだけを押すと、カーソルの左側に入り、右側の文字3 4 5が1文字分右に移る。

カーソルを上下左右に動かす **[↑]** **[↓]** **[←]** **[→]** キー

文字を入れずにカーソルを上下左右に動かすキーが**[↑]**、**[↓]**、**[←]**、**[→]**キーだ。この四つのキーはキーに書いてある矢印の方向にカーソルを1文字分ずつ動かす。

- **[↑]** キーを押すと

→カーソルが上へ動く。画面の1番上までくると止まってしまう。

- **[↓]** キーを押すと

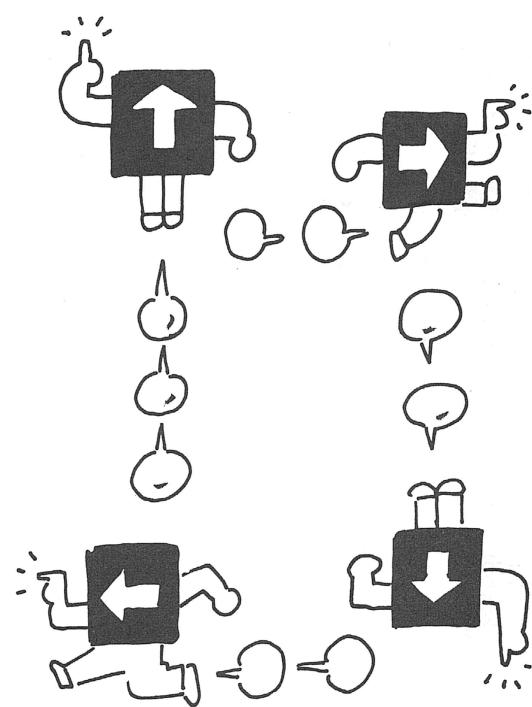
→カーソルが下へ動く。画面の1番下までカーソルがくると、カーソルは止まったままだが、画面にでている文字や絵がどんどん上へ昇っていき、画面から消える。(これをスクロールするという。)

- **[←]** キーを押すと

→カーソルが左へ動く。画面の左はしまでカーソルがくると、1行上の右はしにカーソルがあらわれ、ひきつづき左へどんどん移動する。

- **[→]** キーを押すと

→カーソルが右へ動く。画面の右はしまでカーソルがくると、1行下の左はしにカーソルがあらわれ、ひきつづき右へどんどん移動する。



カーソルをふりだしにもどす **[CLR HOME]** キー

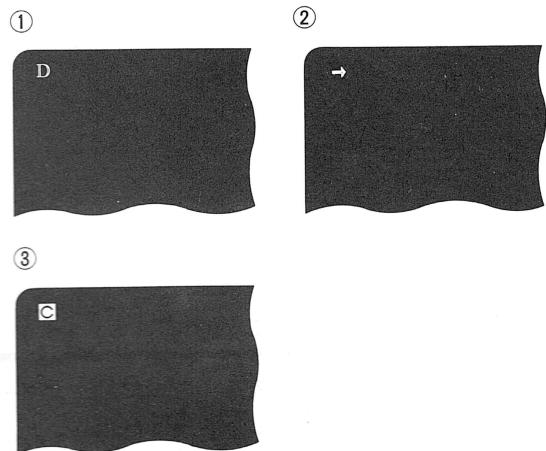
カーソルを画面の左上すみに移したり、画面の文字や絵をすべて消すキーが **[CLR HOME]** キーだ。

- **[CLR HOME]** キーだけを押すと
➡カーソルが画面の左上すみに移動する。
- **[SHIFT]** キーを押したまま **[CLR HOME]** キーを押すと
➡画面の文字や絵がすべて消え、カーソルが画面の左上すみに移動する。

[CTRL] キーと組めば特殊文字

カーソルをコントロールする6つのキー（**[INST DEL]**、**↑**、**↓**、**←**、**→**、**[CLR HOME]**）は、そのまま押したり、**[SHIFT]** キーといっしょに押した時は、画面に文字はでてこない。ところが **[CTRL]** キーといっしょに押すと画面に文字がでてくる。この文字のことを特殊文字と呼ぶ。

- **[CTRL]** キーを押しながら **[INST DEL]** キーを押す①
- **[CTRL]** キーを押しながら **→** キーを押す②
- **[SHIFT]** キーと **[CTRL]** キーを押しながら **[CLR HOME]** キーを押す③



[CTRL] キーといっしょに押すキーと画面にでる特殊文字との関係はつきのようになる。

カーソルコントロールキー	特 殘 文 字
[INST DEL]	D
[INST DEL]	I
↑	↑
↓	↓
←	←
→	→
[CLR HOME]	H
[CLR HOME]	C